MITSUBISHI

三菱電機フリープランシステム

シティマルチ ECO YkP ECO

PUHY-P280MKHSG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P280MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P17ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P280MKHBG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P280MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P26ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P355MKHSG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P355MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P17ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P355MKHBG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P355MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P26ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P450MKHSG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P450MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P17ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P450MKHBG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P450MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P26ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P560MKHSG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P560MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P17ME1(-BS, -BSG)

PUHY-P560MKHBG1(-BS,-BSG)-ST(セット形名)
室外ユニット ：PUHY-P560MKHG1(-BS, -BSG)
蓄熱槽ユニット：STY-P26ME1(-BS, -BSG)

取扱説明書

R410A対応

省エネ時代にふさわしく
夜間電力を昼間の空調に有効利用。だから、
真夏でも契約電力オーバーが防げます。

しかも

冷房のランニングコストが安くなる。
受変電設備を必要最小限におさえられる。
パッケージエアコン式なので設計・施工が簡単。
CO_2を出さないからクリーンで環境に優しい。

本冊子は室内ユニットの取扱説明書と
あわせてお使いください。

もくじ

ページ
1．安全のために必ず守ること ……1～6
2．定期的に行っていただくこと ……7・8
3．サービスをお申しつけの前に ……9
4．保証とアフターサービス ……10
5．工事・移設・点検について ……11
6．仕様 ……12・13

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このたびは三菱電機ビル用エアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになったあとは、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●お使いになる方が代わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

1．安全のために必ず守ること

・据付けおよびご使用の前に必ずこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

・本文中のイラストは、ご使用になっている機種と違うものがありますが、ここに記載されている注意事項は、すべての機種に適用されます。
・本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	感電注意を促します。
	分解禁止を促します。
	接触禁止を促します。

・お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

お使いになる前に

⚠警　告

お客さま自身で据付けはしないでください。

・据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電源回路を確認してください。

・電源がエアコン専用の回路になっていることをご確認ください。
・正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。
・定格の電源、ブレーカー容量になっているかご確認ください。
容量の大きなブレーカーあるいはヒューズや針金・銅線を使用しますと、火災やエアコンの故障の原因になります。
・電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になります。

保護装置の改造や設定変更をしないでください。

・圧力開閉器や温度開閉器等の保護装置を短絡して強制的に運転を行ったり、当社指定品以外のものを使用すると火災や爆発の原因となります。

お使いになる前に…

⚠警　告

当社指定外の部品を使用しないでください。

・空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒーター等の別売部品は、必ず当社指定の製品を使用してください。また、取付けは、専門業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付状態を確認してください。

・室外ユニットが転倒しないように、堅固で水平な基礎にアンカーボルト止めで固定されていることをご確認ください。
・室内ユニットは堅固な場所に水平に固定されることをご確認ください。

必要に応じて換気対応を行ってください。

・小部屋へ据付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。

蓄熱槽への給水は日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。

・伝熱管の孔食の発生を防止するため、当社独自の水処理を施していますので、水の入換えは行わないようにしてください。
・使用開始時および使用開始後定期的に（半年に1回程度）水質検査を行い、水質の変化を継続観測し、腐食傾向が現れた場合は水の入換えを行うか、水質処理メーカー等と協議し適切な対策を行ってください。
・移設等でやむなく水の入換えを行う場合は、当社指定のサービス部品による水処理を必ず　実施してください。

⚠注　意

蓄熱槽の水量は、規定水量入っているかを確認してください。

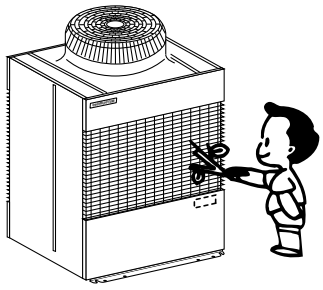
・給水口から規定水位（赤線）まで注水してください。水量が不足したまま繰り返し運転操作をすると、エアコンの故障の原因となりますので注意してください。
・水位計（フロートスイッチ）付きの場合、極端に水位が低下すると、メンテナンスコード "2604" が表示される場合があります。
（水温センサーが正しく設置されていない場合にも、"2604"が表示される場合があります。）

運転するときは

⚠警　告

吹出口、吸込口に指や棒等を入れないでください。

・空気の吹出口や吸込口に指や棒を入れないでください。
内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になります。



直接風が当たるところに動植物を置かないでください。

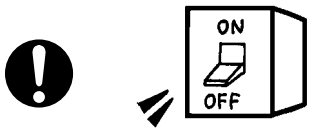
・動植物に直接風が当たる場所には、設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

運転中にパネルやガードを外さないでください。

・機器の回転物、高温部、高電圧に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電により、ケガの原因になります。

異常時は、運転を停止して販売店に連絡してください。

・異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災等の原因になります。
・音や振動がいつもと異なり、異常に大きな時は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。



エアコンに水をかけないでください。

・エアコンは水洗いしないでください。
・濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

⚠注　意

使用温度範囲内で運転してください。

・使用温度範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

運転中掃除をしないでください。

・掃除をするときは必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

長期停止のとき

・長期間ご使用にならないときは、「元電源」を“切”にしてください。電源が入っていると、待機電力を消費するためです。また、ホコリ等が溜まって火災の原因になります。
・電源は必ず運転を開始する12時間以上前に入れてください。故障の原因になります。
・電源を切られている期間は、タイマーキットの停電補償用電池が消耗します。
＜停電補償時間：10年（＋20℃において、停電率50%以下）＞
累積の停電時間が補償時間を超えた場合、誤動作の原因になりますので、タイマーキットのデイリータイマー交換が必要です。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けないでください。

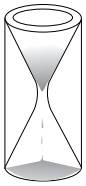
・可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。
発火の原因になります。

リモコンを乱暴に扱わないでください。

・リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。
・リモコンのボタンを先の尖ったもので押さないでください。
破損したり、故障の原因になります。
・リモコン上ケースを外さないでください。
リモコン上ケースを外し、内部の基板などに触れますと危険なうえ、火災、故障の原因になります。
・リモコンをベンジンやシンナー、化学雑巾などで拭かないでください。
変色、故障の原因になります。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

・運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず 5 分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になります。



運転するときは

⚠注　意

素手で冷媒配管に触れないでください。

・運転中の冷媒配管は、流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると、凍傷やけどになるおそれがあります。

据付台などが傷んだ状態で放置しないでください。

・長期使用で据付台等が傷んでいないか注意してください。傷んだ状態で放置すると、ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になります。

ユニットの下に濡れて困るものを置かないでください。

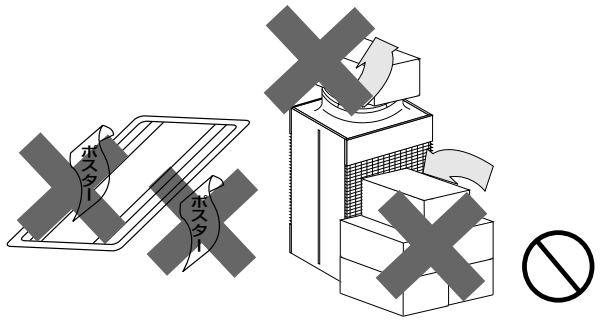
・室内ユニットで湿度が80%以上の場合や、ドレン出口が詰まっている場合には、露が落ちる場合があります。
・室外ユニットで特別に集中排水工事を行わない場合は、ユニットの下よりドレン排水が流れ出ます。
・蓄熱槽ユニットは、外気条件によってパネル下部に露が落ちる場合があります。

特殊環境に使用しないでください。

・油、蒸気、アンモニア、硫化ガス等の多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、熱交換器等の部品が破損することがあります。

ユニットの周りに物を置かないでください。

・吹出口、吸込口の近くに物を置かないでください。能力が低下、または運転が停止する場合があります。



ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

・ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になります。

掃除はこまめに行ってください。

・フィルターを外したまま運転しないでください。内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
・フィルターを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また、踏み台に乗って行うときは、転倒しないようにしてください。

このようなときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠警　告

移設する場合。

・エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

エアコンを廃棄する場合。

・エアコンを廃棄する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。配管接続を外すとき、正しい作業を行いませんと、冷媒（フロンガス）が急激に吹出し、皮膚に触れるとケガをすることがあります。また、フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。エアコンを廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。

故障した場合。

・改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。修理に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
・リモコンにエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は、運転を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、火災や故障の原因になります。
・電源ブレーカーがたびたび作動するときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、火災や故障の原因になります。
・冷媒ガスが吹出していたり、漏れている場合は、エアコンを止めて部屋の換気を十分に行い、販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、酸素不足の原因になります。

2．定期的に行っていただくこと

⚠注意

一定期間以上、蓄冷熱信号（タイマーON）が入らない場合には、リモコンに点検コード（6203）を表示します。
以下のような原因が考えられますので、点検を実施ください。
・タイマーキットのヒューズ切れ
・タイマーキットの蓄冷熱強制停止スイッチが「強制停止」のまま（戻し忘れ）

蓄熱槽への注水について

●初期給水

給水は、給水口から水位計の赤線まで行ってください。
ただし、赤線より上の水は、蓄冷時蓄熱槽内の水が部分的に凍るため、オーバーフローして無くなることがあります。
（水位は蓄熱槽内に氷ができることにより、蓄冷時で最大７～9cm程度の上昇があります。）

●定期給水

水位は定期的（基本的には１回/半年シーズンイン時）に確認し、水位計から水が見えなくなったら赤線の上7～9cmまで給水してください。
※１.シーズンイン時には必ず水位の確認をお願いします。
※２.サービス時等は、氷を溶かしてから赤線まで給水するかもしくは、蓄熱槽内の着氷による水位上昇を見込んで水を赤線の上７～9cmまで入れてください。

●水質

初期給水、定期給水の水質は以下を遵守願います。
(１) (社)日本冷凍空調工業会制定の「冷凍空調機用水質ガイドライン」
(２) 補給水の中に異物（鉄さび等の沈殿物）が無いこと
上記水質が確保できない場合は、当社指定のサービス部品による水質調整を実施するとともに、使用開始時および使用開始後定期的（半年に1回程度）に水質検査を行い水質を維持管理ください。また、移設等により水の入換えを実施した場合にも上記水質調整および維持管理を実施ください。

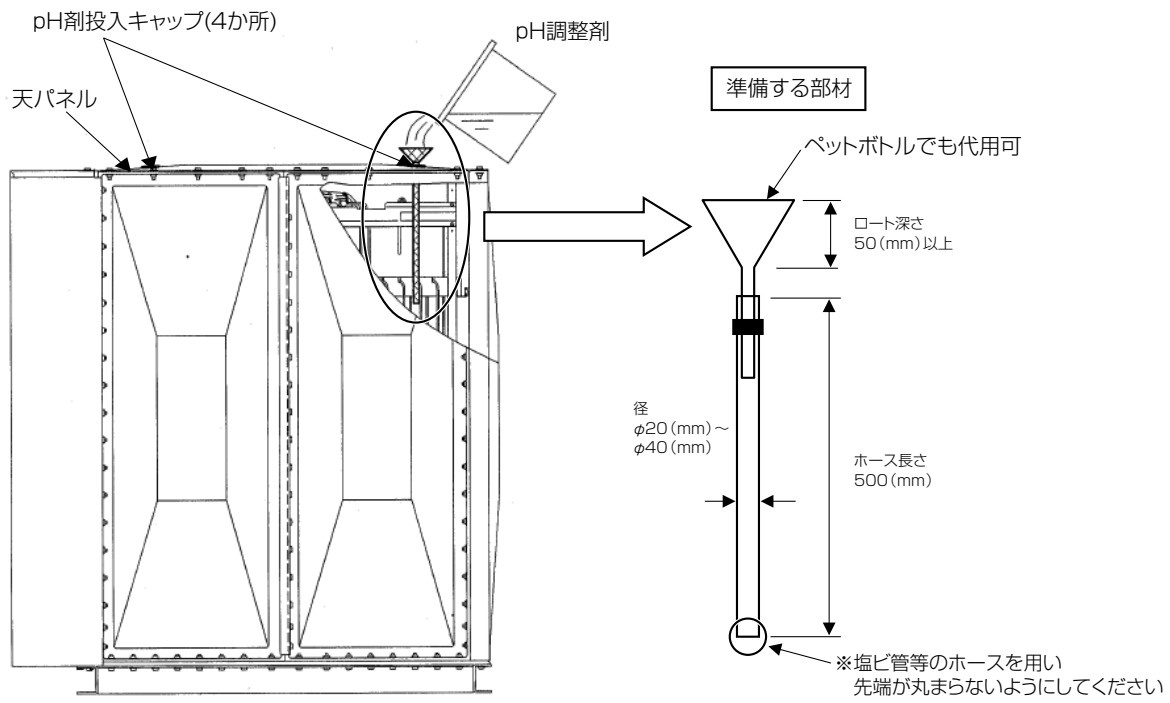
蓄熱槽の水質基準(参考値)

	項目	単位	蓄熱槽内の水質基準	補給用水質基準	水質基準を超えた場合の弊害事項	
					腐食	スケール
基準項目	pH（25℃）	－	7.0~8.0	7.0~8.0	○	○
	電気伝導率（25℃）	μS/cm	300以下	300以下	○	○
	塩化物イオン	mg/L	50以下	50以下	○	
	硫酸イオン		50以下	50以下	○	
	酸消費量(pH4.8)		50以下	50以下		○
	全硬度		70以下	70以下		○
	カルシウム硬度		50以下	50以下		○
	イオン状シリカ		30以下	30以下		○
参考項目	鉄		1.0以下	0.3以下	○	○
	硫化物イオン		検出しないこと	検出しないこと	○	
	アンモニウムイオン		0.3以下	0.1以下	○	
	遊離炭酸		0.4以下	4.0以下	○	

出典：日本冷凍空調工業会
「冷凍空調機器用水質ガイドライン(JRA-GL 02-1994)」

●pH調整剤投入方法

①下図のようなロートとホースを準備してください。
②pH調整剤投入キャップの蓋(4か所)を外し、水槽内の配管に当らないよう①で準備した部材を挿入してください。
③4か所の投入口からpH剤が攪拌されるよう、まんべんなく投入してください。
　また、pH剤投入キャップにpH剤が付着しないよう注意してください。



⚠注意

蓄熱槽のタンクは、完全密閉構造でないため、急激な給水を行うとはねかえり等により、タンク外に水滴が飛び出るおそれがありますので、加圧注水は避けてください。

⚠注意

蓄熱槽の水位計から水が見えなくなった場合は、初期水位（水位計の赤線部）まで水を補給してください。

⚠注意

蓄熱槽への給水は、必ず日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。

⚠注意

機器の劣化を防止し、性能低下を防ぐため、水質の確保をお願いします。管理が不十分ですと、熱交換器の銅管腐食が発生したり、スケールにより蓄冷の能力および蓄冷量が確保されない場合がありますので注意してください。

⚠注意

オーバーフロー水位を超えて給水を続けると、流量によっては水位が上昇し続け、配管穴などから水が流出することがあります。給水を止め、オーバーフロー水位まで水面が下がると流出は止まります。

3．サービスをお申しつけの前に

サービスをお申しつけの前に、次の点をお調べください。

現　　象	リモコン表示	原　　因
冷（暖）房運転しても室内ユニットが運転しない。	**“冷（暖）房”点滅表示**	他の室内ユニットが暖（冷）房運転をしている場合、冷（暖）房運転はできません。
オートベーンが勝手に動く。	**通常表示**	オートベーンの制御動作により、冷房時、水平あるいは下吹きで連続して使用した場合、1時間経過すると自動的にベーン方向が変わることがあります。暖房時の霜取時、ホットアジャスト時、およびサーモ“OFF”時は、自動的に水平吹出しとなります。
暖房運転中風速設定が切換わる。	**通常表示**	サーモ“OFF”時は微風運転となります。 サーモ“ON”時、時間または配管温度により、微風（弱風）→設定値へ自動的に切換わります。
暖房運転中ファンが停止する。	**霜 取 中**	霜取運転中はファンが停止します。
室内ユニットに“集中管理中”を表示して、冷（暖）房運転できない。	**集中管理中**	・集中管理中です。 ・蓄冷熱運転中です。 ※夜間は、次の日の空調のため蓄冷熱を行います。その間、空調運転は行えません。
運転停止してもファンが停止しない。	**消　　灯**	補助電気ヒータ“ON”時は、停止後1分間余熱排除としてファンを運転します。
運転SW“ON”しても風速が設定値にならない。	**暖房準備中**	SW“ON”後5分間、または配管温度35℃まで微風（弱風）、その後2分間弱風のあと、設定値になります。（ホットアジャスト制御）
運転しても室外ユニットが運転しない。	**通常表示**	室外ユニットが冷え込んで冷媒が寝込んでいる場合は、最長20分間、圧縮機を暖めるウォーミングアップ運転を行います。（P560では、外気0℃以下だと電源投入後最大4時間運転しません。）この間は送風運転となります。
元電源をONしたとき約5分以内で室内ユニットリモコンに右のような表示をする。	**“PLEASE WAIT”（“HO”）点滅表示**	システムの立ち上げをしています。 “PLEASE WAIT”（“HO”）の点滅表示が消えた後にリモコンの操作をしてください。
運転停止してもドレンポンプが停止しない。	**消　　灯**	冷房運転停止時は、停止後、3分間ドレンポンプを運転してから停止します。
停止中でもドレンポンプが運転する。	**ー**	停止中でもドレン水が発生した場合は、ドレンポンプを運転します。
蓄熱槽の水位が水位計の下部まで下がる。（水面は水位計より見えている。）	**ー**	蓄冷時に蓄熱槽内は着氷します。 このとき、初期封入水量であれば蓄熱槽からオーベーフロー管より余剰水が流出します。 このため、上記運転後蓄冷利用冷房をすると、水位が水位計下部まで下がります。 ※水面が水位計から見えない場合は、給水してください。 給水は必ず日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。

●停電等で運転が停止すると、「停電時再起動防止回路」がはたらき、停電が解除されても運転できません。そのときは、再びリモコンの 運転/停止 ボタンを押して運転を開始してください。

以上のことをお調べになっても、尚、不具合のときは、エアコンの元電源を切り、お買上げ販売店に製品名、不具合の状況を連絡してください。また、リモコン液晶表示部に“点検”と点検コード（4桁）の点滅表示が表れた場合は、その表示内容（点検コード）を連絡してください。なお、ご自分での修理は絶対にしないでください。

次の場合は故障ではありません。

音がする

●運転中や停止時に「シュルシュル」などと、音がすることがあります。これは、エアコン内部の冷媒が流れる音です。問題はありません。

●冷・暖房運転の開始後と停止後に「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化で前パネル等が膨張・収縮してこすれる音ですので、問題はありません。

4．保証とアフターサービス

保証書（別添付）

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間は

■エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後、９年間です。この期間は、経済産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

■「故障かな？」と思ったら（9ページ）に従ってお調べください。

・なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■修理料金は

○技術料＋部品代（出張料）などで構成されています。

【ご連絡いただきたい内容】

1．品　名	室内ユニット・室外ユニットに！
2．形　名・製品番号	保証書に記入してあります。
3．お買い上げ日	○○年○月○日
4．故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号など）
5．ご住所	付近の目印なども
6．お名前・電話番号	

製品の形名・製造番号は、本体に貼付してある製品名板にも記載されています。
サービスマンがお伺いした折には、必ず保証書をお示し願います。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

・当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

5．工事・移設・点検について

1．据付場所について

設置・移設をする場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れて、ユニットの周囲に溜まると発火の原因になります。

●機械油の多いところ
●海浜地区等塩分の多いところ
●湿気の多い場所
●温泉地帯
●硫化ガスのあるところ
●高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
●酸性の溶液を頻繁に使用するところ
●特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
●室内ユニットは必ず水平になるように据付けてください。水漏れ等の原因になります。
●病院・通信事業所等に据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。

以上記載の環境等、エアコンの雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。ご使用は避けてください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

2．電気工事について

⚠注意

●電気工事は、第一種電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。他の製品と電源を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
●アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線等に接続しないでください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●電源には必ずインバーター回路用漏電遮断器を取付けてください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

3．移設について

●増改築・引っ越しのため、エアコンを取外したり、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

⚠警告

エアコンを移動再設置する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。据付け不備があると、感電・火災等の原因になります。

4．騒音にもご配慮を

●据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大の元になりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
●エアコンをご使用中異常音がする場合等は、お買い上げの販売店にご相談ください。

5．保守点検

●エアコンを数シーズンご使用になりますと、内部が汚れ性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、臭いが発生したり、ゴミ・ホコリ等によりドレン排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をお奨めします。
●蓄熱槽の汚れ等を落とす場合は、洗浄剤として強酸、強アルカリ、塩素が発生するものは使わないでください。（中性洗剤をご使用ください。）また、表面を硬い材質のもの（金属ブラシ等）や鋭利なものでこすることはしないでください。

6．仕　様

【仕様表】

項目 ＼ セット形名			PUHY-P280MKHSG1-ST	PUHY-P280MKHBG1-ST	PUHY-P355MKHSG1-ST	PUHY-P355MKHBG1-ST	PUHY-P450MKHSG1-ST	PUHY-P450MKHBG1-ST	PUHY-P560MKHSG1-ST	PUHY-P560MKHBG1-ST
室外ユニット形名			PUHY-P280MKHG1	PUHY-P280MKHG1	PUHY-P355MKHG1	PUHY-P355MKHG1	PUHY-P450MKHG1	PUHY-P450MKHG1	PUHY-P560MKHG1	PUHY-P560MKHG1
電源			三相200V　50／60Hz							
蓄熱槽ユニット形名			STY-P17ME1	STY-P26ME1	STY-P17ME1	STY-P26ME1	STY-P17ME1	STY-P26ME1	STY-P17ME1	STY-P26ME1
蓄熱利用冷房能力		kW	28.0	28.0	35.5	35.5	45.0	45.0	56.0	56.0
蓄熱非利用冷房能力		kW	22.6	22.6	28.6	28.6	34.1	34.1	41.5	41.5
蓄熱利用暖房能力(放熱暖房運転)(注2)		kW	28.0	28.0	35.5	35.5	45.0	45.0	56.0	56.0
蓄熱利用暖房能力(平均放熱暖房)(注3)		kW	27.0	27.0	31.0	31.0	42.0	42.0	53.0	53.0
蓄熱利用暖房能力(併用暖房運転)		kW	24.0	24.0	30.0	30.0	40.0	40.0	50.0	50.0
蓄熱非利用暖房能力		kW	24.0	24.0	30.0	30.0	40.0	40.0	50.0	50.0
冷房蓄熱容量(注1)		MJ	410(240)	410(240)	510(295)	510(295)	510(410)	567(410)	510	567(510)
暖房蓄熱容量(潜熱分含む)		MJ	345	480	365	500	410	540	450	650
電気特性	定格消費電力 蓄熱利用冷房(注1)	kW	4.83(5.75)	4.83(5.75)	5.67(7.35)	5.67(7.35)	7.55(8.57)	7.46(8.57)	11.77	10.44(11.77)
	蓄熱非利用冷房	kW	5.75	5.75	7.35	7.35	8.57	8.57	11.77	11.77
	放熱暖房(注2)	kW	4.21	4.21	5.27	5.27	6.82	6.82	9.60	9.60
	平均放熱暖房(注3)	kW	4.21	4.21	5.27	5.27	6.82	6.82	9.60	9.60
	併用暖房	kW	5.45	5.45	6.90	6.90	9.01	9.01	10.57	10.57
	蓄熱非利用暖房	kW	5.62	5.62	6.92	6.92	9.01	9.01	11.70	11.70
	消費電力量 冷房蓄熱(注1)	kWh	44.9(25.1)	44.9(25.1)	58.1(30.4)	58.1(30.4)	58.1(44.0)	70.5(44.0)	54.6	69.5(54.6)
	暖房蓄熱	kWh	38.1	47.7	39.2	48.8	50.9	60.9	56.4	74.1
	電流 蓄熱利用冷房(注1)	A	15.50(18.45)	15.50(18.45)	18.19(23.58)	18.19(23.58)	24.22(27.49)	23.93(27.49)	37.76	33.49(37.76)
	蓄熱非利用冷房	A	18.45	18.45	23.58	23.58	27.49	47.49	37.76	37.76
	蓄熱利用暖房	A	13.51	13.51	16.91	16.91	21.88	21.88	30.80	30.80
	蓄熱非利用暖房	A	18.03	18.03	22.20	22.20	28.90	28.90	37.53	37.53
	力率 冷房	%	90	90	90	90	90	90	90	90
	暖房	%	90	90	90	90	90	90	90	90
	始動電流	A	15							
外形寸法	室外ユニット(W×D×H)	mm	990×840×1840						1290×840×1840	
	蓄熱槽ユニット(W×D×H)	mm	1760×1132×1907	2386×1132×1915	1760×1132×1907	2386×1132×1915	1760×1132×1907	2386×1132×1915	1760×1132×1907	2386×1132×1915
圧縮機電動機出力		kW	4.7		5.6		7.1		9.0	
送風機電動機出力		kW	0.38						0.64	
送風機風量		m³/min	200						240	
冷媒配管寸法	室外ユニット 液側	mm	φ9.52　フレア(注5)		φ12.7　フレア		φ12.7　フレア		φ12.7　フレア	
	ガス側	mm	φ19.05　フレア		φ22.2　フランジ		φ25.4　フランジ		φ28.6　フランジ	
	低圧ガス側	mm	φ15.88　フランジ(注4)		φ19.05　フランジ(注4)		φ22.2　フランジ(注4)		φ25.4　フランジ(注4)	
	蓄熱槽 液側	mm	φ9.52　ろう付(注5)		φ12.7　ろう付		φ12.7　ろう付		φ12.7　ろう付	
	ガス側	mm	φ19.05　ろう付(注6)		φ22.2　ろう付(注6)		φ25.4　ろう付(注6)		φ28.6　ろう付(注6)	
	低圧ガス側	mm	φ15.88　ろう付(注4)		φ19.05　ろう付(注4)		φ22.2　ろう付(注4)		φ25.4　ろう付(注4)	
運転音	冷暖房時	dB	56		57		60		61	
	蓄冷時	dB	49		50		54		55	
	蓄熱時	dB	55		55		57		59	
製品質量(運転質量)	室外ユニット	kg	222		237		237		270	
	蓄熱槽ユニット	kg	500(2200)	520 (3120)	500(2200)	520 (3120)	500(2200)	520 (3120)	500(2200)	520 (3120)
蓄熱槽有効水量(運転質量)		m³	1.7	2.6	1.7	2.6	1.7	2.6	1.7	2.6
蓄熱槽給水／排水／オーバーフロー配管			1B／1B／1・1／4B		1B／1B／1・1／4B		1B／1B／1・1／4B		1B／1B／1・1／4B	
冷媒			R410A							

(注1)（　）内は省エネモード時の値です。
(注2) 蓄熱槽内の水温が40℃のときの値です。
(注3) 蓄熱槽内の水温が40℃～5℃での平均の値です。
(注4) 低圧ガス配管が配管長10m（相当長13m）以上となる場合は、別売の分岐ジョイントを用いてユニットから1m以内で分岐して2本配管としてください。
(注5) 室外ユニットと蓄熱槽ユニット間が10m以上、または、室外ユニットから最遠の室内ユニットまでの距離が110m以上の場合は、φ12.7の配管をご使用ください。
(注6) 室外ユニットから分岐ジョイントおよび分岐ジョイントから室内ユニット側の配管寸法です。分岐ジョイントから蓄熱槽ユニットまでの配管寸法は、φ19.05になります。
(注7) 冷暖房能力はJIS B8615－1条件
<冷房時:室内側吸込空気温度27℃(乾球温度)、19℃(湿球温度)、室外側吸込空気温度35℃(乾球温度)、蓄熱槽内水温0℃>
<暖房時:室内側吸込空気温度20℃(乾球温度)、室外側吸込空気温度7℃(乾球温度)、6℃(湿球温度)>
冷媒配管長5mで運転した場合の能力です。
室内ユニットにオールフレッシュ対応機種を接続するときは、上限は100%(外気0℃以下の暖房で使用する時は80%)以下としてください。
冷房専用で使われるときは上限は110%になります。
本システムは暖房能力が冷房能力以下になっています。このため暖房負荷が高い場合には、吹出温度が低くなりコールドドラフトなどの問題が生じます。
従って系統内の全室内ユニットが同時に運転を行うケースでは室内ユニットの接続合計容量をシステム容量比の100%以下となるようにしてください。

【使用範囲】

各機種シリーズの室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。ご使用になっている製品をお確かめのうえ、使用範囲をご確認ください。

⚠注意

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

・室外ユニット	冷房時：−5℃～43℃DB	暖房時：−20℃～15.5℃WB
・室内ユニット	冷房時：15℃～24℃WB	暖房時：15℃～27℃DB

注）室内外共使用可能な湿度目安としては、30～80%RHの範囲内でご使用ください。

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者			
施設名称		系統名		設置年月日			
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者 会社名		責任者			用途	空調用	検知装置	
点検事業者 所在地		電話		冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）
使用冷媒	R410A	初期充填量（kg）		点検周期	基準		実績（月）	

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。

お買い上げ店名　　電話

お買い上げ(据付)日　　年　月　日

三菱電機株式会社
〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT06607X01